

Californian Wines

by Winemakers of Pinot Noir

カ

リフォルニアにおけるワイン造りの歴史に、燦然と輝くソノマのワイナリーである。エステート・ワイナリーとしては同州で最古。

ハンガリーから海を渡ってやって来たアゴスティン・ハラスティ伯爵は、1852年に北カリフォルニアへ拠点を移し、ほどなく1857年、スペイン語で「美しい景色」を意味するブエナ・ヴィスタ・ワイナリーを設立した。ハラスティの功績はそれだけではない。欧州から300種超のヴィニフェラ品種を輸入し、カリフォルニアに広めたのである。新しい世界を切り拓いた、偉人中の偉人と呼ぶにふさわしい。

しかしながら、20世紀前半にアメリカを襲った禁酒法のためにハラスティは破産し、ワイナリーは閉鎖されてしまう。禁酒法撤廃後の49年にワイナリーは再び操業を始めたものの、かつての光はにわかには戻らな

かった。新しい命を、この名門中の名門に吹き込んだのは、ブルゴーニュ地方を本拠とする高貴なるワイン生産者、ボワセ家である。

UCLAで学んだ現当主ジャン・シャルル・ボワセは、カリフォルニアの魅力に取り憑かれ、21世紀に入ってからソノマ、ナパで次々にワイナリーや畑を手に入れていく。11年、同州で2番目に手に入れた珠玉が、このブエナ・ヴィスタであった。栄光の第二幕が開いてから、まだ10年足らず。だが、ここに足を運んだ者は皆、現在は博物館として楽しめる歴史の重みと、ジャン・シャルル特有の絢爛な世界観、そしてピノをはじめとする、すぐる高品質なワインに心を奪われている。

ブエナ・ヴィスタ・カーネロス・ピノ・ノワール2017 (左)

完全除梗だが、濃密さ、複雑さが際立つ骨格を備えたピノ(新樽25%で熟成)。赤系のみならず黒系果実や花、スパイス香も感じられ、豊富な果実味があるものの、甘さが過ぎず秀でた均整美。(4,180円)

Buena Vista Carneros Pinot Noir 2017

ブエナ・ヴィスタ・カーネロス・シャルドネ2016 (右)

ハラスティの祖国ハンガリー産の樽を一部用いた、全房圧搾・樽発酵の深みある白(新樽45%)。熟した木なり果実のアロマに、オークの芳ばしさが寄り添う。持続性あるタイトな仕上がり。(3,663円)

Buena Vista Carneros Chardonnay 2016



1862年に完成したプレス・ハウス(醸造棟)。グラヴィティフローで設計されている。現在はテイस्टングルームとして活用。



創設者ハラスティの愛称「伯爵 The Count」と名付けられた一本。ハラスティの醸造コンセプトにそって、ジンファンデル、シラー、メルロほか複数の赤品種をブレンド。

ブエナ・ヴィスタ

カリフォルニア最古の
エステート・ワイナリー

Winery:3
area_Sonoma

[Buena Vista Winery]



ブライアン・マローニー

20世紀初頭にワイン造りを始めた、曾祖父の血が流れる生粋の醸造家。UCデイヴィスで栽培醸造学を修め、2003年卒業。現在、ボワセ家所有のソノマ郡の全ワイナリーで、ワイン造りを統括する。

Brian Maloney